

## 令和2年第2回刈谷市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和2年2月12日（水） 午後2時00分
- 2 場 所 刈谷市役所 7階 701会議室
- 3 議事日程
  - 第1議事 前回会議録の承認について
  - 第2議事 教育長報告
  - 第3議事 議案第2号 令和2年3月刈谷市議会定例会提出議案等（令和元年度刈谷市教育費3月補正予算、令和2年度刈谷市教育費当初予算、条例の一部改正）に関する意見の聴取について  
議案第3号 令和2年度刈谷市の教育一般方針について  
議案第4号 刈谷市郷土資料館の管理運営方法の変更に伴う関係規則の整備に関する規則の制定について  
議案第5号 刈谷市郷土資料館処務規則の制定について  
議案第6号 刈谷市教育委員会事務局処務規則の一部改正について  
議案第7号 刈谷市教育委員会所管事務専行規則の一部改正について  
議案第8号 刈谷市立学校管理規則の一部改正について  
議案第9号 刈谷市社会教育指導員設置に関する規則の廃止について  
議案第10号 刈谷市地区公民館役員設置に関する規則の制定について  
承認第1号 専決処分（学区外就学）について
  - 第4議事 部課長報告  
各課定例報告  
住吉幼稚園新園舎建設予定地における土壌汚染対策工事の完了及び園舎移転新築工事の再開について

### 【秘密会】

第5議事	議案第11号	令和2年4月1日付刈谷市教職員人事（校長・教頭）について
------	--------	------------------------------

### 4 出席委員

教 育 長	金 原 宏
委 員	池 田 裕 幸
(教育長職務代理者)	
委 員	石 田 芳 加
委 員	鶴 田 英 孝
委 員	浅 井 優

### 5 委員以外の出席者

教 育 部 長	長谷川 文 成
教 育 総 務 課 長	加 藤 直 樹

学 校 教 育 課 長	木 野 昌 孝
生 涯 学 習 課 長	鷹 羽 和 久
ス ポ ー ツ 課 長	加 藤 幹 雄
子 ど も 課 長	高 野 洋
文 化 観 光 課 長	杉 浦 隆 司
教 育 総 務 課 課 長 補 佐	山 田 芳 久
教 育 総 務 課 総 務 係 長	神 谷 友 理
教育総務課総務係主事（書記）	野 尻 真 未

# 開会宣言

会議開始時間 午後 2 時 0 0 分

## 【第 1 議事】

教育長：第 1 議事 前回会議録の承認について上程

教育総務課総務係長：前回定例会の会議録について訂正が無い旨を報告

教育長：第 1 議事について質疑を許可

質疑なし

第 1 議事

承認

## 【第 2 議事】

教育長：第 2 議事 教育長報告について上程

教育長報告

- 1 / 3 1 ・三河部都市教育長協議会
- 2 / 3 ・行政経営会議
- ・校長面接
- 4 ・卒業期における生徒指導懇談会
- ・防災会議
- 5 ・令和元年度刈谷市交通安全推進協議会
- ・婦人会大会
- ・校長面接
- 6 ・令和元年度スポーツ推進審議会
- ・市民大学講座
- 7 ・事務協議会会議・教育長等会議
- 9 ・第 4 7 回刈谷市かきつばたマラソン大会
- ・子ども会大会
- 1 0 ・議会運営委員会
- ・定例記者会見

教育長：第 2 議事について質疑を許可

池田委員：校長面接では、どのような話をされるのでしょうか。

教育長：来年度の学校経営に向けてどのような構想をもっているかなど、学校づくりに関することを面談します。

## 第2議事

## 承認

### 【第3議事：議案第2号】

教育長：第3議事 議案第2号 令和2年3月刈谷市議会定例会提出議案等（令和元年度刈谷市教育費3月補正予算、令和2年度刈谷市教育費当初予算）に関する意見の聴取について上程

教育部長：議案第2号 令和2年3月刈谷市議会定例会提出議案等のうち令和元年度刈谷市教育費3月補正予算、令和2年度刈谷市教育費当初予算について説明

教育長：議案第2号について質疑を許可

池田委員：令和元年度刈谷市教育費3月補正予算について、10款2項1目の小学校費の学校管理費、10款6項1目の社会教育費の社会教育総務費、10款6項5目の社会教育費の青少年活動費が減額とのことですが、その理由を教えてください。

教育部長：入札差金によるものです。予算額と入札結果の金額に差が大きい場合、3月に減額の補正予算を組むことで、次年度の予算にまわすことができますので、今回で減額補正をさせてもらうものです。

鶴田委員：令和2年度の主な事業の中の「いじめ及び不登校児童生徒指導事業（拡充）」について、事業内容を詳しく教えてください。

学校教育課長：各中学校に1人ずつ、「スクール・ほっと・アシスタント」の配置の要望をしているものでございます。昨今、不登校児童生徒が増加傾向にあります。またスマートフォン等の普及による子どもを取り巻く環境の変化や価値観の多様化が進んでおります。SNS等のやり取りの中で傷ついた子どもたちや、人間関係のやり取りの中で自分に自己肯定感が持てなくなった子どもたち、さまざまな理由で学校へ行けなくなった子どもたちを、社会的に人と人が交わる中で、生活できるような場に少しでも戻してあげたいという思いがございます。今までですと教室へ入れなかった場合、すこやか教室へ行くことが多く、一時的に入れられない子のための場所がありませんでした。苦しんでいる子どもに逃げ場をつくってあげないとなかなか立ち直ることができませんので、一時的に教室へ入れない子が学習をしたり、本を読んだり、相談ができる場所をつくってあげたいと思っております。そのような取り組みのもと、少しでも不登校を減らしていけたらという思いから、この事業を行っていきます。今後は、小学校への支援も拡充できたらと考えております。

鶴田委員：今まで、不登校の子は担任の先生や総務の先生方を中心に見てくださっていた

かと思いますが、新しくスクール・ほっと・アシスタントが配置されることにより、先生方との連携や責任者は誰になるのかといった運営について、詳細が決まっていきましたら教えていただけたらと思います。

学校教育課長：スクール・ほっと・アシスタントの方には、子どもや保護者のサポーターの役割を担ってもらいます。あくまで側面的な支援者であり、教員と連携して活動していただくものです。

教育長：運営の中心は校長や教頭であると思っております。スクール・ほっと・アシスタントと学校、家庭、すこやか教室とが連携をとりながら進めていきたいと考えております。

池田委員：スクール・ほっと・アシスタントはどのような方を採用予定でしょうか。

学校教育課長：基本的には元教員や元養護教諭を採用予定です。子どもの心を包んだり、受け止めたりすることが上手な方にやっていただきたいと思います。教員免許または、臨床心理士の資格を持っている人を採用していく予定です。

石田委員：心の教室相談員とは何が違うのでしょうか。

学校教育課長：心の教室相談員は、大学生や大学院生に行ってもらうことが多く、基本的に子どもを対象としており、保護者対応は行っていません。スクール・ほっと・アシスタントは専門的な知識をもって主体的に支援してもらう予定です。

石田委員：スクール・ほっと・アシスタントの配置がありますが、心の教室相談員も引き続き配置していただけるのでしょうか。

学校教育課長：今後も心の教室相談員の方には支援をしてもらいます。

石田委員：先ほどスクール・ほっと・アシスタントの採用を免許や資格の有無で決めるとおっしゃっていましたが、免許や資格があるかどうかで判断するのではなく、学校現場で子どもに寄り添っていただける方であるかどうか、適任であるかどうかを、面接等を通して決めてもらえたらと思います。

学校教育課長：今回採用予定の6人は、信頼できる方でありますので心配ないかと思います。

石田委員：スクール・ほっと・アシスタントの方々のケアにあたる人はいますか。

学校教育課長：新しく始めていくものになりますので、さまざまな問題点が出てくるかと思えます。スクール・ほっと・アシスタント同士の情報交換会を設定するとともに、大学の先生からのアドバイスをいただく機会を設ける予定で計画しております。

教育長：学校には、養護教諭、スクールカウンセラー、心の教室相談員、今回配置予定のスクール・ほっと・アシスタントとさまざまな支援員や教職員がおります。子どもたちにとって、自分に合う先生が一人でもいれば良いという思いで精一杯やらせていただきますので、お願いします。

鶴田委員：子ども・若者支援事業について、新聞の記事を読み、素晴らしい取り組みであると思いました。この事業は、相談に来られた本人や家族へ、支援してくださる団体を紹介するということを中心となるということによろしいでしょうか。

生涯学習課長：NPO法人にお願いし、相談員として社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士等を派遣していただき、予約制で相談を受けてもらう予定です。まだ手探り

の部分もありますが、相談内容に合わせて他の団体へつなげることができたらと考えております。

鶴田委員：対象者が「おおむね40歳まで」とあり、現在、8050問題も話題となっておりますが、40歳と設定した理由は何かあるのでしょうか。

生涯学習課長：生涯学習課では子ども・若者の支援を行っているのですが、その「若者」を39歳までとしています。そのため対象者をおおむね40歳と設定させていただいております。しかし、鶴田委員のおっしゃられたように8050問題も大きくなっていますので、40歳以上の年齢層の相談が多くなった場合には、生活福祉課や福祉総務課と相談しながら支援を検討したいと思います。

石田委員：小中学校空調設備整備事業について、特別教室等に空調設備を設置しているところは全国的にまだ少ないかと思うのですがいかがでしょうか。また刈谷市は全国的に進んでいる方でしょうか。

教育総務課長：全国的な数値の把握はできておりませんが、平成30年、31年と普通教室と特別教室等へ空調設備の設置として、国から補助金の交付を受けておりますので、全国的にも徐々に空調設備の整備は進んでいる状況にあるかと思います。刈谷市については普通教室については整備が完了し、特別教室等については来年度整備する予定です。

石田委員：災害時に体育館が避難所になるということもあり、体育館に空調設備を整備しないのかという質問を受けることがあるのですが、いかがでしょうか。

教育総務課長：令和2年度に、小中学校の体育館にも空調設備を設置するための基本計画の策定を行う予定です。

石田委員：国際スポーツ大会等招致事業について、カナダ女子バスケットボール代表チームは何名来るのでしょうか。

スポーツ課長：選手、スタッフを合わせて25～30名を予定しております。東京オリンピックの予選をベルギー、スウェーデン、カナダ、日本の4か国で行い、カナダ代表は、先週の日曜日に日本と対戦し勝利しました。予選ブロックでカナダは3勝しましたので、カナダ女子バスケットボール代表のオリンピック出場が決定しました。日本は予選ブロック3位でしたが、開催国として出場が決まっております。

===== 第3議事 議案第2号 議決 =====

【第3議事：議案第3号】

教育長：第3議事 議案第3号 令和2年度刈谷市の教育一般方針について上程

各課等長：議案第3号 令和2年度刈谷市の教育一般方針について説明

教育長：議案第3号について質疑を許可

浅井委員：学校教育課の重点項目の児童生徒一人ひとりに応じた支援の充実の中に、児童生徒の変化に敏感に気付くことのできる教職員の育成とありますが、教職員の人材育成やキャリアマネジメントはどのように行っているのでしょうか。以前、学校では民間企業と比べて人材育成のためのカリキュラムが少ないと聞いたことがあるのですが、先生方の年代に合った研修制度は整っているのでしょうか。

学校教育課長：初任者、2、3年目では主に授業力の向上を目的とした研修がございます。5年目では、単元を通して授業を練り上げる勉強を行います。10年目では法定研修がございまして、各自で研究テーマを設定し、取り組みを通じた成果や今後の課題を考える研修を行います。ミドルリーダーの育成として、各市から派遣された教職員が集まり、県の研修センターで授業づくりや子どもとの関わり方などを学ぶ研修を行っております。初任者研修、10年目研修は法定研修のため、必ず行うものとされていますが、その他のものは立候補制で行うものや市独自に設定しているものになっております。

石田委員：学校教育課の重点項目の健やかな身体づくりの中に歯科保健指導の充実とありますが、食後の歯みがきの考え方が歯科医によって異なり、歯みがきを食後すぐに行うのが良くないという意見もあるかと思いますが、学校としてどのように考えているのでしょうか。

学校教育課長：歯みがきについては校長会でも話題になっておりまして、歯科医によっては給食後、すぐの歯みがきは良くないとおっしゃる方もみえます。刈谷市歯科医師会の方針として、学校の給食後の歯みがきは、歯みがき粉をつけず、歯に挟まったものをとる程度の軽微な歯みがきであるので、給食後すぐにしっかりみがくということで、統一して取り組んでおります。

池田委員：幼稚園の今後について教えてください。

子ども課長：令和2年4月から公立幼稚園が幼保連携型認定こども園、刈谷市の条例上の名称で、幼稚園へ移行します。3歳から5歳児のうち、従来の保育園利用の子どもと従来の幼稚園利用の子どもの双方が在園できることとなります。それに伴い、令和3年度から刈谷市内の公立保育園10園のうち4園が段階的に乳児園というものに移行していきます。乳児園とは、最終的に0歳から2歳児専用の保育園と捉えていただければと思います。まず令和3年度に、乳児園になる予定の保育園に通う2歳児は退園していただき、近くの幼稚園に移っていただくため、乳児園になる予定の4園には3歳児がいなくなります。令和3年度に3歳児がいなくなることで、0歳から2歳児の定員を一段階増やします。令和4年度には、3、4歳児がいなくなるので、0歳から2歳児の定員を二段階増やすことができます。令和5年度には、3歳から5歳児が完全にいなくなりますので、4園は0歳から2歳児専用の保育園となり、0歳から2歳児の定員をさらに増やすことができます。これは、待機児童対策として実施しているもので、0歳から2歳児の保育所の定員枠を増やすものでございます。計画上、令和5年度に完結する予定です。

池田委員：従来の保育園と幼稚園が一緒になり、ひとつ屋根の下で保育を行っていただ

るという認識でよろしいでしょうか。

子ども課長：幼保連携型認定こども園は、従来の幼稚園利用の子どもと保育園利用の子どもが混在しております。そのため、開園は7時30分からとなります。1日の流れを想定しますと、7時30分から従来の保育園利用の子が登園します。8時40分から従来の幼稚園利用の子が登園し、日中は従来の保育園利用の子と一緒に活動します。14時30分に従来の幼稚園利用の子が降園し、従来の保育園利用の子は保護者の迎えがくるまで園で過ごすことになります。少なくとも8時40分から14時30分までは、従来の保育園利用の子どもと幼稚園利用の子どもと一緒に活動することになります。

池田委員：今ある幼稚園、保育園の建物が同じ建物になるという計画はございませんか。

子ども課長：今ある幼稚園、保育園の建物が同じ建物になるということではなく、今ある幼稚園の建物を幼保連携型認定こども園にするということになります。基本的には保育園はそのまま、先ほど申し上げましたように、市内の公立保育園10園のうち4園だけは、0歳から2歳児専用の保育園となります。今ある幼稚園、保育園が統合するというものではありません。

石田委員：教育一般方針の子ども課の中に、保育カウンセラーによる巡回指導とありますが、保育カウンセラーとはどのような方でしょうか。

子ども課長：臨床心理士の資格を持っている方が定期的に各園に回ってくださっており、保護者や先生の相談を受けていただいております。実際は、保護者からよりも先生からの相談を受けることが多いようです。

石田委員：保育カウンセラーは何名くらいいらっしゃるのでしょうか。

子ども課長：4名おり、各担当がそれぞれの園を巡回し相談を受けています。

浅井委員：小学校では朝部活動がなくなりましたが、部活動の代わりになるものをスポーツ課として何か計画されているのでしょうか。

スポーツ課長：スポーツ課として部活動の代わりになるものの計画はしておりませんが、学校教育課と相談をし、スポーツ指導員の派遣やホームタウンパートナー制度を活用するなどして協力できることはあるかと思います。また、身体を動かす機会としましては、それぞれの中学校の学区に総合型地域スポーツクラブがございますので、会員になっていただき、利用してもらえたらと思います。

石田委員：小学校の朝部活動はなくなると伺っておりますが、中学校も朝部活動はなくなるのでしょうか。また保護者の間で、中学校の部活動がなくなるという噂が出ているみたいですが、中学校の部活動はなくなるということでよろしいでしょうか。

学校教育課長：現在、小学校は朝部活動を行っておりません。そして、中学校の朝部活動については、朝部活動の時間を午後に移行できないかを検討しております。今後、部活動の時間はやや少なくなるかと思いますが、刈谷市では、部活動を子どもたちの心身を育む非常に価値のある活動であると考えておりますので、部活動をなくすという考えはございません。

浅井委員：私たち保護者は、部活動があって当たり前の世代で生きてきましたが、部活動

があつて当たり前という発想を転換していかなければならないときも、いずれ来るかと思います。私は、部活動をきっかけにスポーツを続けることができました。たとえ部活動がなくなったとしても、もっと身近にスポーツができるきっかけを子どもたちに与えられたら良いと思います。先ほど、スポーツ課長より、総合型地域スポーツクラブの話もありましたが、身体を動かせる場所の情報をもっと簡単に手に入れることができれば、子どもたちにとってスポーツを身近に感じることができ、部活動への発想が変わり、教職員の働き方改革へもつながっていくのではないかと思います。

石田委員：教育一般方針の生涯学習課の中に、市民講座受講後のグループ結成の促進とありますが、グループ結成にあたり補助金などがあるのでしょうか。

生涯学習課長：とくに補助金はありません。生涯学習課で企画しているさまざまな講座の中で出会った人々が仲良くなり、受講後に自分たちでグループの結成を行い、活動してもらうことで、個人のスキルを高めてもらい、いずれは市民講師になっていただきたいというねらいがございます。そのため自主的な活動としてお願いしております。

池田委員：子どもたちへの教育は非常に多岐にわたり、時間をかけて先生方は指導に当たってくださっているかと思います。しかしこれからは、民間や市民の参画がないと難しい状況になっていくかと思います。民間や市民の中から子どもと関わりたいと思っている人を集約し、活用していくことを刈谷市には積極的に考えていってほしいと思います。

===== 質疑なし 第3議事 議案第3号 議決 =====

【第4議事：部課長報告（子ども課関係分）】

教育長：第4議事 部課長報告のうち、住吉幼稚園新園舎建設予定地における土壌汚染対策工事の完了及び園舎移転新築工事の再開について上程

子ども課長：住吉幼稚園新園舎建設予定地における土壌汚染対策工事の完了及び園舎移転新築工事の再開について説明

教育長：第4議事 部課長報告のうち、住吉幼稚園新園舎建設予定地における土壌汚染対策工事の完了及び園舎移転新築工事の再開について質疑を許可

===== 質疑なし 第4議事 部課長報告（子ども課関係分） 承認 =====

【第3議事：議案第4号及び議案第5号】

教育長：第3議事 議案第4号 刈谷市郷土資料館の管理運営方法の変更に伴う関係規則の整備に関する規則の制定について及び議案第5号 刈谷市郷土資料館処務規則の



制定について上程

文化観光課長：議案第4号及び議案第5号について説明

教育長：議案第4号及び議案第5号について質疑を許可

池田委員：刈谷市郷土資料館の館長はどなたがやられるのでしょうか。

文化観光課長：現在は、歴史博物館館長が兼務する予定です。

教育長：刈谷市歴史博物館と同じく、刈谷市郷土資料館を直営にすることで、学芸員を配置し、より良い展示物を提供していきます。そのための規則の制定となりますのでよろしくお願いします。

===== 第3議事 ===== 議案第4号及び議案第5号 ===== 議決 =====

【第3議事：議案第2号・議案第6号～議案第10号】

教育長：第3議事 議案第2号 令和2年3月刈谷市議会定例会提出議案等（条例の一部改正）に関する意見の聴取について、議案第6号 刈谷市教育委員会事務局処務規則の一部改正について、議案第7号 刈谷市教育委員会所管事務専行規則の一部改正について、議案第8号 刈谷市立学校管理規則の一部改正について、議案第9号 刈谷市社会教育指導員設置に関する規則の廃止について及び議案第10号 刈谷市地区公民館設置に関する規則の制定について上程

生涯学習課長：議案第2号・議案第6号・議案第7号・議案第9号・議案第10号について説明

学校教育課長：議案第8号について説明

教育長：議案第2号・議案第6号～議案第10号について質疑を許可

鶴田委員：刈谷市地区公民館役員設置に関する規則の制定について、すべての地区の公民館に関わるものでしょうか。

生涯学習課長：全23地区に関わることでございます。

===== 第3議事 ===== 議案第2号・議案第6号～議案第10号 ===== 議決 =====

【第3議事：承認第1号】

教育長：第3議事 承認第1号 専決処分（学区外就学）について上程

学校教育課長：承認第1号 専決処分（学区外就学）について説明

教育長：承認第1号について質疑を許可

質疑なし

第3議事

承認第1号

承認

【第4議事：部課長報告】

教育長：第4議事 部課長報告のうち、各課定例報告について上程

教育総務課長：3月分給食献立について説明

学校教育課長：2月1日現在の児童・生徒数について説明

3月分行事予定について説明

生涯学習課長：1月分生涯学習関係施設利用状況について説明

1月分市民休暇村客室等稼働状況について説明

1月分総合文化センター、図書館の利用状況について説明

総合文化センターの今後の予定案内

平成31年度「家庭の日」優秀作文集、平成31年度青少年作文・家族への手紙コ

ンクール入賞作品集、刈谷まなびの広場について紹介

スポーツ課長：1月分体育施設使用状況について説明

3月分行事予定について説明

教育長：第4議事 部課長報告のうち、各課定例報告について質疑を許可

質疑なし

第4議事

部課長報告

承認

教育長：全体を通して質疑を許可

学校教育課長：新型コロナウイルスへの学校対応について説明

教育長：事務局連絡事項を許可

教育総務課総務係長：次回教育委員会定例会の日程等について確認

教育長：令和2年第2回教育委員会定例会の第4議事までの終了報告及び第5議事につい  
て秘密会として開催する旨報告

関係者以外は散会

会議閉会時間

午後4時8分

教 育 長